

新冠町軽種馬生産振興会が

重賞レース優勝馬を表彰



2月3日、新冠町軽種馬生産振興会は、レ・コード館で令和6年重賞レース優勝馬表彰式を行いました。令和6年の重賞優勝馬は27頭（18牧場）となり、この日出席した生産者に対し、優勝馬表彰が行われました。また、日高振興局からもJpnI優勝馬を生産した（株）ノースヒルズと（有）新冠タガノファームに対し、優勝馬表彰が行われました。

新冠小学校1日入学

新1年生が2年生児童と交流



2月5日、新冠小学校で1日入学が行われ、保護者が学校などからの説明を受けている間、新1年生は2年生児童と交流を図りました。交流会では、2年生の児童がゲームのお手本を示してジャンケン列車や工作の手助けをするなど、頼もしいお兄さん、お姉さんとして活躍し、新1年生のみなさんはとても楽しそうに参加していました。

町内の小中高生が

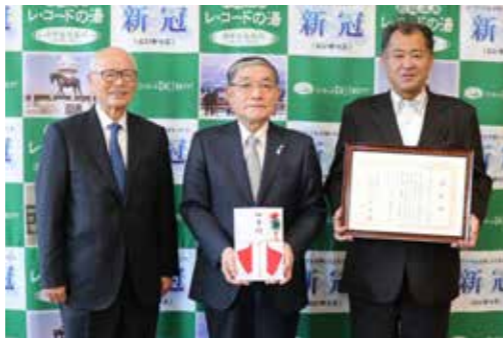
大学生らと交流



新冠町商工会は2月13日から16日の間、レ・コード館で「まなび場いかつぶ」を開催しました。本事業は、町内の小中高生が、全国各地から新冠町に集まった大学生や社会人9名と勉強するほか、悩みや将来について意見交換することで、参加者の視野を広げることを狙いとしています。16日は、大学生が経験談も紹介しながら参加者に伝えたいことを話す事業が行われ、この日参加した17名の小中高生は、大学生たちの言葉を真剣に聞き入っていました。

（株）シズナイロゴスが

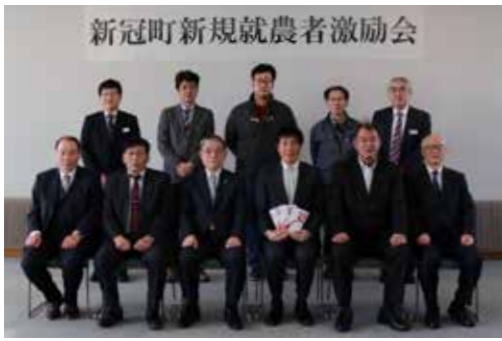
企業版ふるさと納税で100万円寄附



2月26日、札幌市に本社を構える（株）シズナイロゴス（伊藤功一代表取締役社長）より、当町が掲げる「産業振興の活性化によるまちづくり」に係る「地域担い手育成総合支援協議会事業」に対して、100万円の寄附をいただきました。伊藤社長は、「地域農業の担い手確保のため、今後もお役に立てるよう努めていきたい」と話されました。

3年間の研修を重ね

新規就農する石垣さんを激励



2月26日、役場庁舎で新規就農者激励会が開催されました。今年、新たに就農するのは、令和4年から町農業支援員として研修を重ねた字古岸の石垣大地さんです。激励会には鳴海町長のほか、研修受け入れ農家や農協、農業委員会などの農業関係機関が集まり、これから施設野菜農家として就農する石垣さんに激励の工員が送られました。

昭和音楽大学による

アウトリーチコンサート

昭和音楽大学は「第20回新冠町×昭和音楽大学パートナーシップコンサート」に先立ち、2月14日に「アウトリーチコンサート」を開催しました。会場は毎年恒例の認定こども園、小学校、中学校に加え、今年は新冠温泉でも実施されました。認定こども園ド・レ・ミでは、声楽メンバーによるコンサートが行われ、園児たちはテノールの重厚な響きに驚くとともに、知っている曲をみんなで一緒に歌い、楽しいひと時を過ごしました。



朝日の森で

冬のミニ運動会



2月24日「ありがとう朝日小学校実行委員会」は朝日の森で冬のミニ運動会を開催し、親子36名が参加しました。参加者は、スケートリンクで長靴ホッケーや玉入れを楽しみ、さらに雪上長靴飛ばしにも挑戦しました。競技の間には、ホットミルクなどの温かい飲み物や焼きマッシュマロが提供され、親子で楽しい冬の思い出を作る機会となりました。

新冠町少年国内研修交流事業

沖縄で学んだことを堂々と発表



小学6年生と中学1年生の19名、高校生サブリーダーの1名が参加した「新冠町少年国内研修交流事業」の報告会が、2月26日にレ・コード館で開催されました。報告会では、平和や歴史などの4テーマに沿って事前研修で学び、現地を知り得たことを発表したほか、沖縄県金武町中川区との交流結果の発表があり、参加者は発表に感心しきりに聞き入っていました。

（株）道南と苦小牧信用金庫に

新冠町善行賞を贈呈

2月27日、役場庁舎で新冠町善行賞贈呈式（随時表彰）が行われ、町に対し多額の財産を寄附されました。新冠町は、新冠町（木原訓代表取締役）と苦小牧市の苦小牧信用金庫（小林一夫理事長）に善行賞の表彰盾を授与しました。（株）道南は昨年11月に多額の財産を寄附されました功績が認められて2回目の受賞となり、苦小牧信用金庫は令和2年10月から継続して多額の財産を寄附されました功績が認められて3回目の受賞となります。また、苦小牧信用金庫（写真下）の小林一夫理事長は、「新冠町に支店を構える信用金庫として、地域貢献を目的に継続して寄附をしました。今後も地域の発展にお役に立てるよう努めます。」と話されました。

